

第32回 兵庫県生物学会総会報告

期 日 1978年5月27, 28日

第1日

会 場 西脇市第一染工厚生会館

司 会 平田忠夫先生

会長あいさつ 会長 室井 緯先生

来賓祝辞 県立西脇高等学校長 山内俊一郎先生

感謝状贈呈

故 川崎正悦先生

故 田中颯二先生

故 重田芳夫先生

森・三木・紅谷生物研究奨励金授与

亀井一成氏 動物生態の研究

田村幸男氏 アマゴの研究

横山了爾氏 キノコの研究

賞状贈呈

西脇市動植物生態研究グループ 西脇の自然の研究

議 事 議長 杉田・佐野先生

1 会務報告(昭和52年度) 当津 隆理事長

(1) 理事会52. 4. 23 県立姫路西高校

前年度会務行事報告, 新年度会務行事計画案

(2) 第31回総会 52. 5. 21~22 県立姫路西高校

兵庫生物 Vol. 7, No. 4 に報告

(3) 神戸支部総会 52. 6. 26 蓬山峡

(4) 夏期研修会 52. 8. 9~11 佐用郡南光町船越
山りり寺 兵庫生物に報告

(5) 理事会 52. 8. 29 県立加古川東高校 第31回
総会, 夏期研修会報告, 会員名簿について, 公開講
座準備状況, 北海道夏期研修旅行案, 天然記念物編
集中間報告

(6) 名簿原簿カード発送 52. 10. 8

(7) 第4回公開講座 52. 10. 29 神戸国際会館 港
と昆虫—外国から来た虫たち— 神大教授 農博
奥谷禎一先生

(8) 「県天然記念物」編集会議 52. 11. 12 県立姫
路東高校

(9) 理事会 53. 4. 20 県立加古川東高校 総会準
備, 会務行事報告, 新行事計画案

(10) 会計監査 53. 5. 6 県立明石高校

(11) 出版物 兵庫生物 Vol. 7, No. 4 53. 2. 10

高校改訂生物Iハンドブック53. 2. 1

2 会計決算報告 平畑政幸先生

本誌に明細書及び監査報告を記録

3 昭和53年度企画案

(1) 兵庫生物刊行

(2) 現代生物学ゼミナール

(3) 高校改訂生物Iハンドブック

(4) 兵庫県の天然記念物編集

(5) 第5回公開講座

神大教授 農博 釜江正己先生(11月)

(6) 夏期研修会

兵庫県立水産試験場(53. 8. 21~23)

(7) 夏期研修旅行

(8) 会員名簿発行

(9) 県広報誌“ニューひょうご”への協力

(10) 支部行事 本部までお知らせください。

(11) 次期(第33回)総会開催予定地 但馬支部に決定

研究発表

1. 西脇の鳥類 西脇動植物生態研究グループ

ツバメ, コシアカツバメ, ウソ, メジロ, ウグイス,
シジュウカラ, ヤマガラ, コジュケイ, ノビタキ, キ
ジ, ホオジロ, サンコウチョウ, アオバズク, ヨタカ
コサギ, クマタカ, カイツブリ, オオルリ, トビ, ゴ
イサギ, セグロセキレイ, キジバト, カルガモ, チュ
ウサギ, カラス, スズメ, モズ, アトリ, ヒバリ, ム
クドリ, タゲイ, ツグミ, キョウビタキ, ルリビタキ
エナガ, コガモ, チドリガモ, マガモ, アオサギ, カ
ワセミ, カシラダカ, ショウゲンボウ, タシギ, ユリ
カモメ, ダイサギ, オオバン, 等スライドにより生態
的特徴と人類との関連について解説

2. チンパンジーの人工哺育について

神戸市立王子動物園 亀井一成氏

動物園に飼育しているチンパンジーは子供を生んで
も授乳能力がないので, 人工哺育にふみきった。人間
の住む家の中で, 人間の家族の一員のようにして合計
4頭(4人とやりたい)のチンパンジーを育てた。そ
の哺育についての苦心談と成育記録について発表

3. ヤグラタケの研究

県立竜野高等学校 横山了爾先生

ヤグラタケの人工培養法とその生態について発表

講 演

水質汚染と水生昆虫

奈良県立奈良小学校教員養成所教授

御勢久右衛門先生

川の底生動物の研究法について

(1) 種類の同定が第一歩

(2) ある川, 水系の底生動物のリスト作成

(3) 新しい種や珍しい種の発見

(4) 生活史の研究

- (5) 分布の研究
- (6) 現存量の測定 (優占種, 生活型)
- (7) 生産量の測定
- (8) 流下と溯上 (組成, 量的関係, 日周変化, 移住サイクル)
- (9) 羽化昆虫の量と周期性
- (10) 食性, 摂食量の測定
- (11) 呼吸量の測定
- (12) 水質と底生動物 (指標生物, 生物学的水質測定)

水質と底生昆虫

無機的汚染

有機的汚染

化学分析法 pH, O₂, BOD, COD の測定

細菌学的測定

指標動物を調べる

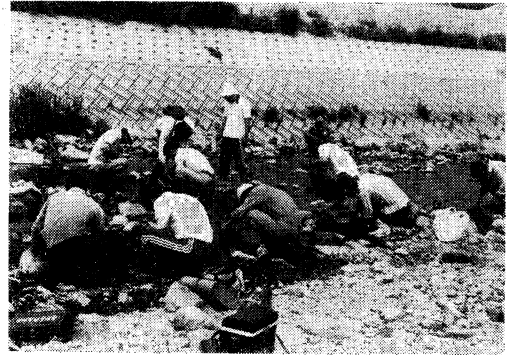
水質測定法

ベック津田法

パントル・バックの方法

第2日

午前10時, 杉原川べり (多可郡中町岸上) に集合, 前日の下検分の結果, 案内状に記していた場所より少し上流点に集合場所を変更したのでかなりの参加者に迷惑をかけた。約50名の参加者が前日講演された奈良県立奈良小学校教員養成所教授・御勢久右衛門先生の御指導の下に水生昆虫の観察実習を行った。普段は川の水中の石ころの裏側に住んでいる生物等気にもとめていなかったのので, 一つ一つの石ころをうらかえしてみてもそこに生存する動物の数の多さにびっくりし, 感心する。前日に続いて真夏のような暑い日照りのもとで, 素足で水につかり, 水上に出た石に腰をおろし, 一つ一つ丹念に調べていった。御勢先生より, カゲロウ, カワゲラ, トビケラの三種を区別するのが最初であるということで, 尾の有無脚のつめの本数に注目した。後で御勢先生に何うと, ここでは, トビケラの類…5種, カゲロウの類…10種, カワゲラの類2…種ガガンボの類…2種, ユスリカの類…1~2種, トンボの類…3種, 甲虫の類…2種, ヘビトボボの類…2種, カマキリの類…1種, カワニナの類…1種, シマイシビル…1種, プラナリア…1種計30種類近くの水生昆虫が生存しており水質としては良い方であるとのことであった。その後近くの寂々園というバラ園 (中町鍛冶屋) へ移動し, バラの花を觀賞しながら昼食をいただく。午後は, 継続して水生昆虫の観察を希望する者は続いて御勢先生の指導をうけ, 他の多くの参加者は近く水底に没す予定の糞屋ダムの湿生植物を室井先生小林先生の指導の下に採集した。(広内督文)



水生昆虫の観察実習

第32回 兵庫県生物学会出席者名簿(受付順)

増田喜代次	仲井啓郎	長井邦恭
杉田隆三	広内督文	平田忠夫
小林卓郎	山本広一	近藤昭一郎
大場義憲	大坪正吾	森脇千代蔵
当津隆	上岡雅和	小紫敬三
岡村はた	西敦義	藤本義昭
森本実	内海功一	山根誠也
横山了爾	渡辺猛史	吉原正剛
菅原正広	市毛康之	佐野駿介
田村淳	亀井一成	猪井隆司
富川哲夫	東克彦	長谷川忠司
藤木明弘	稲生確治	萩本公一
西村謙之助	北村誠輝	徳岡延章
小林尚雄	井上昭男	渋谷竜二
小市村豊	西山俊治	近藤浩文
今井幸夫	山本佳孝	古河崎正昭
寺沢遼	杉田靖興	高田俊
東敏男	浄徳隆	永井壮一郎
建武	矢尾田勝	丹羽啓裕
藤本光博	田中光夫	橋本光政
三木民子	古田昌	木村珪三
中原勇	家永善文	朝倉襄
前川脩	田中千加夫	真野育三
植竹紀恵	中岡忠雄	高島千明
三住昭夫	佐藤孝介	藤尾妙子
大久保正和	田先崇志	平畑政幸
児島哲郎	浅原一彦	田村武男